

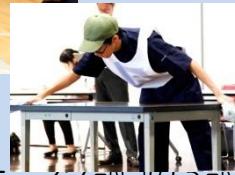
# 明日に向かって2017

## 秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル

7月12日(水)に秋田市にぎわい交流館AUで秋田県特別支援学校職業教育フェスティバルが行われました。作業学習等で培った技術の発揮や様々な取り組みの紹介を目的として、技能競技大会をはじめ、作業学習実践交流会や販売会に高等部生13名が参加しましたので、その様子をお伝えします。

### 技能競技大会

#### 第16回秋田県障害者技能競技大会



本校は今年度、パソコンデータ入力部、喫茶サービス部、シルククリーニング部の3部門に6名が出場しました。これまで毎日のように放課後に練習を積み重ねてきました。緊張感が漂う会場の中でしたが、それぞれが練習の成果を発揮し、佐々木望さん(パソコンデータ入力)と木村大河さん(喫茶サービス)が見事、3位入賞を果たしました。

### 販売会

お客さんに対する言葉遣いに気を付けて、丁寧な対応で販売しました。製品をしっかりと吟味した上でお買い上げいただきました。



### 作業学習実践交流会

自分たちの実践発表はもちろんのこと、他校の発表にも興味深く真剣に耳を傾けている様子が見られました。体験や試食を行う班もあり、作業学習や作業製品の更なる発展につなげていくためのよい交流会となりました。

農耕班

木工班

ビルクリーニング班

縫製班



# H29 年度 進路に関するアンケート調査 Q & A

保護者の皆様には、毎年アンケート調査への記入の御協力、ありがとうございます。アンケート項目の中の「進路についての御希望やお悩み、御相談」に関する内容について、お答えします。将来の生活や進路を考える上で、ぜひ参考にしてください。

## 小学部の保護者の方から



### Q 自分（本人）に合った進路先を見つけることができるか心配です…

A 本人に合っている進路先を探すことをマッチングといいます。マッチングを適切に行うために、大切なことは多くありますが、まずは、自分の得意不得意、長所短所、能力等を見極め、きちんと自己理解することが必要不可欠です。

また、情報収集も大切です。PTAでの施設研修や福祉事業所・雇用状況等説明会等もありますし、学校と御家庭で、マッチングに役立つ情報の共有をして、本人に合う進路先を見付けたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

## 中学部の保護者の方から



### Q 親が年老いたときの生活の場があるかどうか不安です…

A 卒業生の中には、入所施設やグループホームなどに入って生活している人も多いです。施設には支援員の方や、相談員の方もいますので、生活する上で様々な面において助けていただけます。グループホームでは、世話人の方から健康管理に関する助言や日常生活の指導を受けながら共同生活をします。自宅で生活する人も、市役所の福祉課や地域の相談支援事業所などに相談できます。

また、卒業後だとしても、支援学校に相談していただければ、相談内容に応じて必要な関係機関につなげることもできます。

卒業した後、本人が安心して支援機関とつながっていけるように、地域に出向いた様々な体験活動や実習など、在学中により多くの社会体験をすることが大切だと思います。

## 高等部の保護者の方から



### Q 気軽に仲間づくりができるような活動場所があれば、卒業後の生活も充実すると思うのですが、どこかないでしょうか？

A 本校では、学校卒業後の余暇支援として、本校同窓生を対象に、年3回「ふれあいハッピースクール」というイベントを催しています。「ふれあいハッピースクール」は、地域から講師をお招きし、茶道、フライングディスク、グラウンドゴルフの3つの講座を設定して活動しています。また、障害者就業・生活支援センターでも、就職している人を対象に、ボウリング、映画鑑賞、調理学習などの企画で交流会を実施しています。

詳しい情報についてお知りになりたい場合は、学校職員にお気軽にお問い合わせください。

### ～お知らせ～

9月15日（金）に本校を会場にして、福祉事業所・雇用状況等説明会を行います。障害者雇用や就職活動、在学中や卒業後の福祉事業所のサービス等について、詳しい情報を直接質問できる機会となります。今後の進路選択のために、ぜひ御参加ください。詳しい案内は、後日配付します。